

四日市西部編

四日市散策マップ

近鉄伊勢川島駅

川島～桜～水沢

発行／(一社)四日市観光協会
 〒510-0075
 三重県四日市市安島一丁目1-56
 TEL.059-357-0381
<http://kanko-yokkaichi.com/>
 E-mail:kanko@m3.cty-net.ne.jp
 2025年10月第6版発行



14 伊勢三郎首塚
 源義経の四天王のひとり、伊勢三郎の首を家来がこの場所へ埋めたといわれています。また、三郎の子孫、河島がこの地に居住していたことから「川島」の地名になったと言われています。



1 和泉式部の井戸
 平安中期の歌人として名高い和泉式部。顔のあざにコンプレックスを抱いていたが、夢のお告げでこの水で洗顔したところ、あざが消えたという伝承が残っている。



2 智積廃寺跡
 道路造成の際発見された四日市最古の仏教寺院跡です。飛鳥時代後半から奈良時代初頭に創建され、約100年後の奈良時代末期に廃絶しました。



3 メダカの池(ビオトープ)
 休耕田を整備して大小4つの池からなっており、今では約千匹のメダカが生息しています。また、メダカとともに色々な昆虫が共存しています。



4 一生吹山
 戦国時代、今の桜地内にあった「佐倉城」の城主小林重則が関一族の峯盛定を迎え撃った際に、砦を築き戦場となったのがこの場所です。今は小さな公園となり、春は桜がとともきれいです。



5 シデコブシ自生地(桜町)
 シデコブシは、当地のほか尾張、三河、美濃の伊勢周辺地域にしか自生していない絶滅危惧種で、昭和57年に市の天然記念物に指定されました。毎年4月の始め頃に白色から淡い紅色をした花をつけます。



16 ビオトープ(別山二号公園)
 湧き水を利用し、地域の住民が大切に育てたほたるが飛び交う場所として親しまれています。



12 鹿化川千本桜
 川沿いに全長5キロに及ぶ桜並木は「千本桜」として有名です。



11 シデコブシ自生地(川島町)
 ビオトープのそばの湿地で約4mの木が30株ほど群生しているのを見ることができます。県の天然記念物に指定されています。



10 ヒメコウホネ
 和無田池では毎年6月下旬ごろ、絶滅危惧種とされるスイレン科の「ヒメコウホネ(姫河骨)」が可憐な花を咲かせている。



9 神明社の大樟
 四日市市教育委員会提供
 拜殿前に樹齢800年以上で高さ約24mの立派な樟があり、市の天然記念物に指定されています。四日市では昭和47年に樟の木を「市の木」に選定しています。



6 智積養水
 水不足に悩んだこの地の人々が、隣の菰野町の「蟹池」から水をもらうために江戸時代に敷設された灌漑用水です。昭和60年には環境庁の名水百選に選ばれ、鯉の泳ぐ清流は地域住民の誇りとなっています。



7 酒造業
 名水百選に選ばれた「智積養水」が流れるこの地では水のおいしさを生かして地酒を造っている蔵元がたくさんあります。



8 引石(西勝寺に保存)
 江戸時代、矢合川は生水川(しょうずがわ)と呼ばれ、石造りの生水橋がかかっていましたが、川が増水すると水が橋の上を流れ危険でした。そこで一対の「引石」を川の両側に建てて縄をそれぞれに渡し、増水時にはこの縄を手すりとして橋を渡ったそうです。



約5km

約3.8km

桜地区市民センター

古くは「水沢道路」と呼ばれていた。

「せせらぎ」が流れる小さな公園です。

摘んだ分の量り売りです。

春には桜、秋にはもみじがきれいだよ。

お墓は「西福寺」にあるよ

地域交流の場として美術館や、誰でも入浴できる温泉施設があるよ。

神明社の大樟

ヒメコウホネ

川沿いに全長5キロに及ぶ桜並木は「千本桜」として有名です。

湧き水を利用し、地域の住民が大切に育てたほたるが飛び交う場所として親しまれています。



宮妻峡

約4km

水沢地区市民センター

約5km

桜地区市民センター



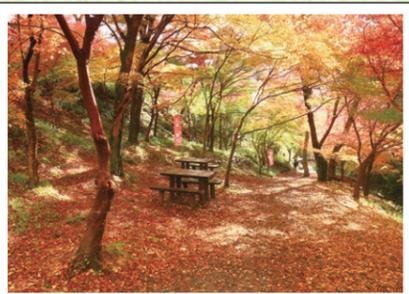
⑥ 四日市市茶業振興センター
 茶業の発展を図る施設として平成4年に設置、平成30年に新築移転。茶工場のほか、調理体験室、イベントスペース等を設け、より多くの方にお茶を知っていただける施設となっています。
 【時間】9:00～16:00
 【休館日】月曜日(祝日は営業、翌日休)
 【電話】059-329-3367



「水沢かぶせ茶」の様子



⑦ 少年自然の家
 鈴鹿山脈の雲母峰のふもとの、眼下に伊勢湾全域が一望できる場所にあります。豊かな自然の中でキャンプなどの集団宿泊活動や野外活動等、様々な体験活動を行うことができます。
 【時間】8:30～(利用によって異なります)
 【料金】お問合わせ下さい。
 【電話】059-329-3210



⑧ もみじ谷
 鈴鹿国定公園内に位置し、深閑とした谷間に広がっており、四季折々の風情を満喫できます。特に秋はその名の通り谷を包み込むようにもみじやかえりが色づきます。
 ※入場無料・年中無休



⑤ 四日市市水沢市民広場(星の広場)
 1ヘクタールの芝生広場になっており、昼間は広々としたスペースで遊びや軽スポーツを楽しめ、夜は満点の星空を楽しめます。



④ 弘法井戸
 弘法大師が水沢を訪れた際、雨が降らず水がないのを不憫に思い、持っていた杖で「トン」と突くと、こんこんと清水が湧き出し井戸のようになったという言い伝えから、弘法井戸と呼ばれています。以来、この井戸は枯れたことがありません。



③ 弘法杉
 弘法大師が杉の枝で作った箸で昼飯を召上がった後、地面に箸を突き刺したところ、それがやがて根元に芽が吹き大きな木に成長したのが弘法杉と呼ばれています。



② 四日市市ふれあい牧場
 自然に囲まれた乳牛育成場で、子牛が元気いっぱい育っています。展望台や芝生広場、遊歩道が整備され、ミニチュアホースや山羊などの小動物ともふれあうことができます。また、乳搾りやバターづくりなどの体験(要予約)もできます。
 【時間】11:00～15:00
 【休館日】牧場:年中無休
 売店:水・木曜日 悪天候時
 冬季(11月末～3月末)
 【電話】059-329-3711



① 四日市スポーツランド
 桜町の豊かな自然の中であって、アスレチックコースのほかちびっこプールやデーキャンプ場など自然のなかで遊ぶことができ、四季様々な花を楽しむ事が出来る場所です。
 【時間】9:30～17:00(3月～10月)
 9:30～16:30(11月～2月)
 【休館日】金曜日(祝日は営業、翌日曜休)
 【料金】利用施設により 100円～
 【電話】059-326-5415



水沢地区の「かぶせ茶」の生産量は日本一!

江戸時代、菰野九代藩主土方義苗が、文化6年(1809)に「もみじ谷」と命名しました。

自然に囲まれた中にある研究施設用地です。

今でもこんこんとわき出ています。



⑩ 宮妻峡
 鈴鹿山脈と鎌ヶ岳、入道ヶ岳の自然に囲まれ、渓谷美を堪能できるここは、登山が家族や仲間同士で楽しめる場所として人気です。天気の良い日には展望台からパラグライダーもしており、秋には燃えるような紅葉がすばらしい所です。



パラグライダー



⑪ 辻久善翁之碑
 辻久善の碑は足見田神社の境内にあります。水不足に悩まされていた水沢村を、庄屋であった辻久善が指導して瀬戸用水を築造しました。用水が完成し、足見田神社に合祀された諏訪社に奉納されていた「礼おどり」が今の「お諏訪おどり」の始まりとされています。



⑫ 足見田神社
 「足見田神社」は伊勢国三重郡にあった五つの郷のうちひとつ「葦田郷(あしみたの郷)」に由来する名前とされています。春には水沢茶の発祥地とされている冠山茶の木原より新茶が神社に献茶され、夏には四日市市無形文化財に指定されている「お諏訪おどり」が境内において行われます。



⑭ 常願寺
 この第9世住職であった中川教宏が、茶産地である京都の宇治を視察し産業としての茶業の振興を思い立ち、茶の実を蒔いて、水沢に一大茶園地の礎を築きました。



⑬ 一乗寺
 その昔、最澄が全国布教の途中に水沢に立ち寄り創造したと言われていました。またこの地の茶業は、当時の住職玄庵が先代の住職から空海直伝の製茶法を受け継いで唐の茶種を植えたことが始まりと伝えられています。



新茶まつり



お諏訪おどり
 「お諏訪おどり」の曲は干害に苦しむ水沢町の庄屋で瀬戸用水の完成に尽力した辻久善の功績を讃える詞章です。頭に花笠をかぶり、胸に締め太鼓をつけ、手にバチを持って踊ります。足見田神社の水まつりと水沢三本松の盆踊りの時披露され、市の無形民俗文化財に指定されています。